

第1回 丘珠空港周辺地域連絡協議会 協議概要

■開催概要

日時： 令和5年（2023年）6月29日（木）10時00分～11時45分

場所： さっぽろテレビ塔 2階会議室

参加者： ○空港周辺の連合町内会関係者（北区：篠路茨戸、屯田、太平百合が原、拓北・あいの里、東区：栄西、栄東、伏古本町、丘珠、札苗、東雁来、中沼の各連合町内会から、計20名参加）
○札幌市天野副市長（冒頭あいさつのみ）
○札幌市まちづくり政策局空港活用推進室職員（事務局）

■協議概要

- 天野副市長による冒頭あいさつ
- 「協議会の設置」について、[配布資料](#)に基づき事務局から説明
- 「空港と周辺地域との調和と共生」について、配布資料に基づき事務局から説明
- 意見交換

■主な意見

○協議会の設置に関すること

- ・協議会の設置についてご了承いただいた。

○環境配慮に関すること

<騒音関係>

- ・今後、就航便数が増える見込みとのことだが、しっかり騒音を調査し、マスコミを通じて発信するなど、わかりやすく丁寧な情報発信をお願いしたい。
- ・夏場は、会館の窓を開けていると、航空機騒音でほかの音が聞こえないこともある。騒音調査は、住民に寄り添い、納得が得られるように行ってほしい。
- ・航空機は短い時間で通り過ぎるので、騒音は特に気にならない。

<道路関係>

- ・空港利用者数が増えると、丘珠空港通に渋滞が発生する可能性があるため、何らかの対応が必要ではないか。

○空港ターミナルビルほか、空港整備に関すること

- ・空港ターミナルビル（以下、空港ビル）を道の駅にして、就航先の地域も含めた物産展を開くなどすれば賑わいに繋がるのでは。
- ・空港ビルの機能強化とアクセス改善の両立が必要。
- ・丘珠駐屯地は建物が老朽化し、建て替えの話が出ていると聞いている。例えば丘珠駐屯地を空港北側に移転し、跡地に空港ビルや商業施設を設置すれば、地下鉄駅からも近くなり、賑わい創出にも繋がると思うので、検討してほしい。
- ・なぜ滑走路は1,800mなのか。もっと長くし、新千歳空港とも調整しながら、関東、関西などとの便を増やしてほしい。
- ・空港ビルに子供が遊べる施設があると、雨天時や冬も含め賑わいに繋がるのでは。

○緑地の機能維持、周辺の土地利用に関すること

- ・緑地が減るということだが、騒音の緩衝機能についてはしっかり考えてほしい。
- ・現状の緑地は散策路しかないので、スポーツ施設など目的性のある施設や機能があると良い。周辺の百合が原公園、つど一むなどとの連携にも期待。
- ・緑地も含め、周辺の土地の有効活用を検討してほしい。
- ・丘珠地区は開発が進まず、何十年も前から変わっていない。一方で、周辺の農地は後継者不足で未耕作地も増えている。これから人口は減るので宅地化は難しいと思うが、例えば物流基地を作るなど、周辺の土地活用を検討してほしい。
- ・空港を核としたまちづくりが必要。民間による開発行為が進むように、土地利用の在り方を検討してほしい。丘珠駐屯地の移設なども含めた周辺の土地利用について、この協議会で知恵を出して話し合っていきたい。

○直近の交通アクセス改善に関すること

- ・空港へのアクセスが不便なので、しっかり対策してほしい。
- ・駐車場の整備、交通アクセス改善をしっかり進めてほしい。
- ・交通網の関係で、自家用車で行くことが多いので、駐車場の整備に期待。立体駐車場化し、屋上に太陽光発電を設置するなど、環境対策と併せて考えては。

○ロードマップに関すること

- ・連町の会議では、「もっとスピーディにできないのか」といった声が多く、全面的に協力していきたい。
- ・取組自体は賛成。強いて言えばもっとスピーディに進めてほしい。
- ・将来像の実現に向け、本協議の場で地域の意見を一本にして、国に対してアプローチしていくことが大事。そのためにも、市には地域への丁寧な対応をお願いしたい。また、国との協議状況・内容は協議会の場でも共有してほしい。

■札幌市

- 国との協議状況についてだが、発着便数については自衛隊の訓練への影響を踏まえて調整していく必要があるため、急に増便になるということは無く、徐々に増えていくことになると考えている。空港運用時間の拡大については、騒音調査をしっかり行いながら慎重に考えていく。新千歳空港との役割分担としては、新千歳も需要が戻ってきているため、今後は道外便やビジネスジャンプの受入などについて丘珠空港も担っていく必要があるのではという意見が出されている。
- 本日は、事業をよりスピーディに進めること、空港ビルへの集客機能の設置、航空機騒音に関する調査と丁寧な説明・対応が必要という点について、意見が一致したところかと思う。
- 今後は、本協議会に加え、アンケートやワークショップなど、様々な方法で市民の意見やニーズを把握していく予定。それらの意見を国や関係機関と共有するとともに、構想といった形で案をまとめていくことが必要だと考える。引き続きご協力をお願いしたい。